

◀ ネットを通じて、自宅でリハビリ指導が受けられるシステム。

◀ 小学校でのIT教育。大きなキーボードシートで体を動かして覚える。

デンマーク王国 DATA

人口558万人(≒北海道)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

当会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度が高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。住田によるレポート(PARTⅢ)は今号で最終回となります。ご愛読ありがとうございました。PARTⅣもお楽しみに。

LETTER FROM COPENHAGEN

コペンハーゲン通信 最終回 PARTⅢ

リハビリと 教育現場でのIT活用

昨年11月にリハビリ・教育等におけるIT活用の現場を視察しました。まず、リハビリの現場では、リハビリ・センターを訪問することなく、自宅でリハビリを受けるためにITを利用するという試みが行われていました。新しいシステムに賛同してくれる人を募り、必要な機器は自治体が貸出し、患者さんが家のモニターの前に立てば、その向こうにはリハビリを指導してくれる先生と各家庭でリハビリを行う仲間がいて、リハビリが開始されます。このようなIT活用により、自治体による支出が減るだけでなく、患者さんは家というリラックスした住空間の中で、空いている時間にいつでもリハビリを行えるようになります。

デンマークの国民には「新しいことを試すのは面白いし、個人・社会の利益になる。そうして自分たちの社会システムは自分たちで改善していく」という考え方が根本的にあるため、上手に「チャレンジ精神」のある人々を誘導して、新たな社会システムを作っています。

国民学校(小中学校)を訪問した際には、まず、ITエキスパートチーム「eITTe」を結成している子どもたちがプレゼンをしてくれました。エキスパートといっても特に難しいことを行うわけではなく、校内でのパソコンのセットアップ、トラブルシューティング等が必要な際に彼らが呼び出され、対応します。自分たちが立候補してチームに所属し、エキスパートであると周囲から見られるため、必死に知識や経験を積み重ねるようです。「当事者意識」を上手に利用することで、IT自体を含め、ITをツールとした問題解決も、コミュニケーションも、自ら学んでいくのです。

授業においてもITは決して学問の対象ではなく、あくまでツールの一つです。1年生の授業では、物理的に体を動かさず活動とITを利用した勉強が組み合わされた授業が行われています。例えば、床に敷いた大きなキーボードの上で提示された単語を自分が動きながら入力するという授業がありました。単語のスペルを覚えると同時に、体を動かす

ことでキーボードのアルファベットの場所を覚えることができるようです。これらの授業では、3年生が1年生をサポートしています。1年生に教えることで自然と自分も学ぶことができ、なおかつリーダーシップを発揮できるようになるという良いサイクルがあるようでした。

5年生の数学のクラスでは、Excelでプロジェクト予算を作成し、掛け算を学んでいました。また、別のチームではパソコンで図形を描き、その面積を算出するために掛け算を学んでいました。ここでもITはあくまで学ぶ対象ではなく、ただのツールという扱いでした。そして、それぞれの問題の出し方の違いについて先生に理由を尋ねたところ、同じ2桁の計算を学ぶにしても、その思考プロセスは子どもたちによって異なるため、チーム分けもしているということでした。それぞれのチームの中にはリーダーが存在し、そのリーダーたちは常に自分がチームを引っ張っているという自信を持ちます。また、子どもたちは昨日よりも今日、今日よりも明日、成長できることを目標にそれぞれの課題を解決していきます。本人が自分の成長を毎日感じることで、いつも主役でいることができ、頑張らなくてはならないという気持ちも芽生えるのではないのでしょうか。学ぶ過程で上手にITを活用させていくことも、その教え方も、日本は学ぶところが大きいのではないかと感じました。



最後に、在デンマーク日本大使館で働き始めて早2年、まもなく日本に帰国します。驚くほどあっという間の2年間でしたが、仕事やプライベートを通して、デンマーク人、日本人を問わず、多くの方々との出会いは、何にも代え難い私の宝物となりました。そして、「チャレンジ精神」と「当事者意識」を上手に活用して社会をみんなで作っていくという考え方をデンマークで学びました。帰国したら、何か日本の社会に役に立てることをしていきたいと思います。このような機会を下さった方々に感謝いたします。



住田 智子

在デンマーク日本大使館一等書記官
(経済同友会事務局より出向中)